

## 令和2年活動始動！ マスクして田植え

令和2年6月25日、五年生児童70名でガッツ米の田植えをしました。新型コロナウイルスの感染防止のため、参加者全員マスク着用での田植えとなりました。今回も田植えの指導役として、八女農業高校生18名に参加して頂き、保護者も合わせて総勢100名を超える活動となりました。



最初に、(株)福岡九州クボタの担当の方より、田植え機について実際に動かしながら説明して頂きました。



その後、手での植え方を教えて、田植えが始まりました。



泥に足をとられながら、30℃を超える夏日でしたが、時間まで田植えを楽しみました。



### 児童の感想

- こんなに田植えが大変だと知らなかった。
- 上手く苗を泥に指すのが難しかった。
- 暑かったけど、楽しかった。

今年テレビ取材があり、田植え、草刈り、稲刈り、加工、販売まで密着取材の予定です。番組名は「日本のチカラ」。全国の方にガッツ米の活動を見て頂けるのが楽しみです。

八女

～あたらしい戦士づくり～  
ふるさとを誇り、夢を叶え、  
家としての誇りを築く  
交流都市 八女

【発行元】NHK 福岡放送局 TEL:093(2)311101  
【編集】NHK 福岡放送局 TEL:093(2)311101  
【発行】2020年7月15日 No.1189

八女市の広報誌にも田植えの様子を掲載して頂きました。



#### ショウブで子どもたちにきれいな景色を

豊岡地区自治運営協議会（坂田寛喜会長）では、地域づくり提案事業として、黒木小学校北側一帯にショウブを植えています。校舎北側は長年、耕作されないう荒地が広がっていましたが、「子どもたちが毎日校舎から見下ろす景色を美しくしたい」と、平成30年から荒廃地の解消のため、ショウブづくりをはじめました。昨年7月には児童とともに植え付けを行うなど、子どもたちの交流を図りました。今年は新たに約2500本のショウブを植え、定期的な草とりや植え付け、肥料の管理などを行っています。今では地域の人が、気が付く自主的に手入れをするなど、関心の輪が広がっています。6月初旬、秋の収穫には色とりどりのショウブ園が広がり、学校の周りを明るく彩っています。



児童がショウブを植える様子「西三木」

#### 収穫の日が待ち遠しい!

長峰小学校5年生 ●人が「ガッツ米（品種：ゆめくし）」の田植えを行いました。長峰小のスローガン「絆の子ガッツ」から命名されたこの取り組みは、食育の授業の一環として毎年行われており、今年で4回目。樋口豊隆の樋口米んを中心に、県立八女農業高校などの協力のもと、半年かけて田植えや収穫、販売といった一連の流れを体験し、食の大切さや経済の仕組みを学んできました。初めて田植えを体験したという児童も多く、最初は「お米の栽培は難しい」と感じていた様子でしたが、収穫後は「お米の栽培は思ったより簡単だった」「お米のありがたさを改めて実感できました」

